

# 平成 19 年度事業計画

(平成 19 年 4 月 1 日～ 20 年 3 月 31 日)

1. 所の運営体制の整備
  - ① 事務体制の確立
  - ② 委員会等の定例的開催
  - ③ 財政基盤の安定化
  - ④ 規程類の整備
2. 「林業経済」誌の適正発行
  - ① 誌面の充実（企画、審査等）
  - ② 編集委員会（永田委員長）の定例開催
  - ③ 販路の拡大
  - ④ 諸学会との連携
3. 調査事業への取組み
  - ① 調査研究体制の整備（科研費、入札資格、学協会等）
  - ② 計画的受託・確実実行
  - ③ 調査委員会（笠原委員長）の機能強化
  - ④ 林業経済学会、若手研究者等との連携
4. 「緑の循環」認証会議（SGEC）への取組み
  - ① SGEC の審査機関としての厳正な対応
  - ② 全国森林組合連合会との連携強化
  - ③ 我が国森林の適正管理への貢献
  - ④ SGEC の普及への協力
5. シンポジウムの開催（実行委員長：宮林茂幸氏）

第 7 回シンポジウム テーマ「日本林業の 60 年」（仮題）  
平成 19 年 10 月 27 日（土）午後 東京農業大学にて  
.研究所創立 60 周年記念行事の一環として行う。  
企画委員会と 60 周年記念事業特別委員会の連携  
ベテラン研究者と現役研究者に報告を依頼中
6. 研究奨励事業の実施

平成 19 年度事業を『林業経済』誌と研究所 HP にて 5 月末締切りで公募  
11 件の申込みがあり、6 月 6 日審査委員会（餅田委員長）を開催。  
審査の結果、対象者を以下の 2 氏に内定。（理事会承認）  
川崎章恵氏（九州大学大学院）  
「大規模木材産業の原木調達と林業一人親方の組織化に関する研究—  
福島県を事例に—」  
呉守蓉氏（東京農業大学大学院）  
「高度経済成長下における中国の林業財産権制度の改革に関する研究」
7. 林業経済学会等との連携強化
  - ① 個人情報管理を厳正に行いつつ、会員管理等の事務委託を適正に行う。
  - ② 研究会、シンポジウム等での連携を強化する。
  - ③ 林業経済誌への学会関係、会員からの投稿を積極的に掲載する。
8. 創立 60 周年記念事業の実行

平成 19 年 6 月に研究所創立 60 周年を迎える。  
記念事業特別委員会（笠原委員長）を設置し準備を進める。  
平成 19 年 10 月 27 日に、記念誌を発行し、農大にてシンポジウムと祝賀会を開催  
記念誌はゆかりの研究者 70 余名へ原稿依頼